

ユナイテッド・オーバーシーズ銀行(UOB)

純手数料収益堅調。米シティ個人金融事業統合効果で貸出増と純金利マージン拡大見込む。非不動産融資比率拡大へ
 シンガポール | 銀行 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG UOB:SP | REUTERS UOBH.SI

- 2024/12期2Q(4-6月)は、総収益が前年同期比1.5%減、コア純利益が同1.2%減。純金利収益減少と調整後経費率の悪化が響いた。
- 純金利マージン縮小による逆風の一方、ローン、ウェルス・マネジメント、クレジットカード業務関連の純手数料収益が伸長した。
- 米シティ個人金融事業統合が進捗し貸出増加とNIM拡大が見込まれるほか、非不動産融資比率向上による貸出の質と収益の両立を図る。

What is the news?

8/1発表の2024/12期2Q(4-6月)は、総収益が前年同期比1.9%減の34.76億SGD、米シティグループ現地法人の買収の影響を除く調整後経費率が同0.9ポイント上昇悪化の41.8%、不良債権処理に係る減損損失が同36.4%減の2.32億SGD、調整後のコア純利益が同1.2%減の14.89億SGDだった。利益面では経費率の悪化が響いた。前四半期比では、総収益が1.3%減、コア純利益が4.9%減、6月末の貸出の質に係る不良債権比率(NPL)が横ばいの1.5%だった。

2Qの総収益内訳は以下の通り。①純金利収益は前年同期比1.5%減の24.01億SGD。6月末貸出残高が同2.8%増だったものの、純金利マージン(NIM)が同0.07ポイント低下の2.05%へ悪化したことが響いた。②純手数料収益は同17.9%増の6.18億SGD。主力のローン関連業務が同19%増に加え、グローバル市場における合弁事業も含めたウェルス・マネジメント業務関連収益が同40%増、クレジットカード業務が同35%増といずれも堅調だった。ウェルス・マネジメントに係る合計管理資産額も同10%増の1820億SGDへ拡大した。③トレーディング・投資収益などのその他非金利収益は同21.3%減の4.57億SGDだった。

How do we view this?

通期会社計画は、貸出残高の伸び率が前期比1桁台前半、総収益の伸び率が同プラス(1-6月実績:0.9%減)、純手数料収益が同10%台の伸び率(同:11.4%増)、買収の影響を除くコア経費率が41-42%(同:41.8%)と、従来計画を据え置いた。同行は貸出の質向上と収益拡大の両立を目指すなかでグローバル・ホールセール事業の利益における非不動産セクターの構成比が65%、うちアセアン4カ国(マレーシア、タイ、インドネシア、ベトナム)では83%を占めている。

同行は、米金融大手シティグループの東南アジア4カ国の個人向け金融事業を49億SGDで順次買収を行った。マレーシア、インドネシア、タイは統合が完了し、ベトナムは2025年に統合完了予定。200万人超のシティの4カ国の顧客基盤に加え、シンガポール以外の東南アジア主要国の収益割合を引き上げる方針だ。今後も、継続的に貸出残高を増やし預貸利鞘のNIMを拡大していく上では成長市場であるアセアンでM&Aによる外部成長が求められよう。同行は華僑ネットワークの強さで優位性がある。

業績推移

※参考レート 1SGD=112.06円

事業年度	2021/12	2022/12	2023/12	2024/12F	2025/12F
当期利益(百万SGD)	4,075	4,573	5,711	5,733	6,136
EPS(SGD)	2.38	2.68	3.33	3.53	3.64
PER(倍)	12.89	11.44	9.21	8.69	8.43
BPS(SGD)	24.08	24.24	26.00	28.15	29.90
PBR(倍)	2.38	2.68	3.33	3.53	3.64
配当(SGD)	0.99	1.20	1.60	1.79	1.84
配当利回り(%)	3.23	3.91	5.22	5.84	6.00

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(SGD) **1.79** (予想はBloomberg)
 終値(SGD) **30.67** 2024/8/19

会社概要

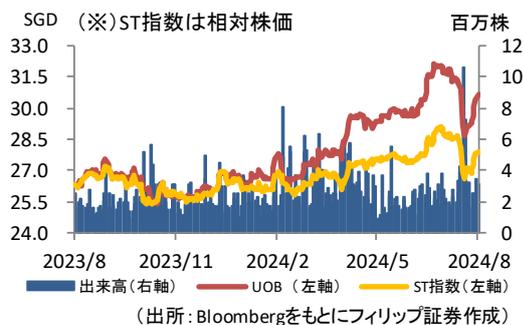
1935年にウィー・ケンチャン氏が創業した、シンガポールに本社を置く銀行。当初は福建省のコミュニティ向け「ユナイテッド・チャイニーズ銀行」として設立されたが、1958年に入行し1974年に跡を継いで主席となった息子のウィー・チョーヨー氏の経営の下で倉庫業や不動産業に参入し、華人系銀行を次々に買収、合併して急速に発展。2001年には当時のシンガポール四大銀行の一角を占めたOUB(華聯銀行)も吸収合併した。不動産会社のUOLグループもウィー・チョーヨー氏の下で一大企業集団に成長した。

東南アジアでのビジネス拡大を図る日系企業に対して、東南アジアにおけるクロスボーダーのビジネス支援にも注力している。

シンガポールでは、クレジットカード、民間住宅ローンのマーケットリーダーであり、中小企業向けローンにおいてもキープレイヤーである。資産運用を担うUOBアセットマネジメントのほか、グループ傘下には、中国、インドネシア、マレーシア、タイ、ベトナムに拠点となる完全子会社の銀行を擁し、東南アジア全域で活動を展開している。

企業データ(2024/8/20)

ベータ値 0.98
 時価総額(百万SGD) 51,550
 企業価値=EV(百万SGD) #N/A/N/A
 3ヵ月平均売買代金(百万SGD) 82.3



主要株主(2024/8)

(%)

1.WEE INVESTMENTS PTE LTD 7.98
 2.WAH HIN & CO PTE LTD 5.18
 3.VANGUARD GROUP 3.07

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
 +81 3 3666 6980
 hiroki.ihara@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>